

小学校から高校まで言でも使うという姿勢が大
学校で学びました。中学 切です。

の時に拡大鏡(ルーペ) 運転できない私が、輪
に出会い、人生が変わり 送の大手、ヤマト運輸に
ました。弱視は100万 就職しました。今は商品
人いれば、

100万通
りの見え方

自分だからできる仕事

共用品推進

機構でも、シ
ャンプーのギ

がある。一人一人違うの 開発の段階から障害のあ
で社会の理解を得にくく 利用者の視点を取り入
い。弱視者は拡大鏡、点 れる仕事をしています。
字、パソコン、拡大文字、 その一つの成果が、宅
音言など使えるものは何 急便の不在連絡票。視覚

形の切り込みを入れまし ザギザのような、障害や
た。点字にするとコスト 年齢にかかわらず、多く
がかかりません。それでた の人が使いやすい製品や
どりの着いた方法が切り込 サービスの普及を目指し
みでした。民間企業では て活動しています。



ヤマト
運輸 芳賀優子さん

はが・ゆうこ 1962年生まれ。生まれ
たときから弱視で、右目は光を感じる程
度、左目は視力が0.02弱。ヤマト運輸宅
急便部で目の見えない人も区別できるよ
うに、ネコの耳形の切り込みがついた宅
急便の不在連絡票を実現させた。財団法人「共用品推進機構」でも活躍。